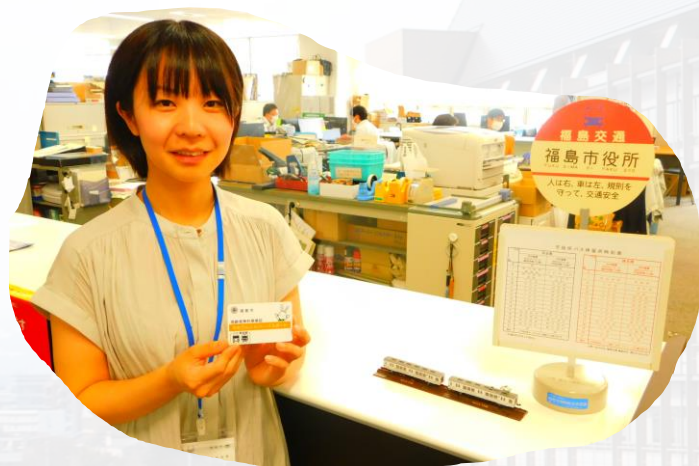


移住して福島市役所職員になりました！

R3年度採用（U I Jターン枠）



J



U



I

#1 桑田 晋弥 さん

福島なら自然も近くてのんびりできますよ!!



情報政策課 システム管理係
桑田 晋弥さん

出身：福島県郡山市
移住元：埼玉県

福島に来てから猫を飼い始めました。
りんちゃん(♀)▶



大学時代、福島市に住んだことがあるという桑田さん。システムエンジニアとして都内の民間企業に7年ほど勤めましたが、電車での通勤や人混みに疲れ、田舎を求めて地元福島県内の求人を探していたそうです。「登録していた大手転職サイトで福島市の採用情報を知り、応募しました。」

現在は庁内ネットワークシステムの運用・管理業務を担当しています。福島での新生活のため、車の購入、住居の契約、引っ越しなど金銭的な負担も大きかったですが、福島市が実施する引越費用の補助を活用し、「とても助かりました!」と話してくださいました。自宅では猫にも癒されて福島ライフを満喫しています!

#2 目黒 菜々美 さん

福島市は東西南北、交通のアクセスが良くて魅力的です！

結婚を機に福島市での新生活がスタートした目黒さん。以前は山形の市役所で働いていました。現在はその経験を生かして生活保護のケースワーカーを担当しています。「業務は地区制なので、ほかの職員との情報交換や相談がしやすい環境です。」

福島市には何度も訪れていましたが、実際住んでみると山形より夏が暑く、同じ東北でも全然違うなと感じたそうです。

「私生活ではキャンプが好きで春夏秋冬をメインに楽しんでいます。福島県内には、裏磐梯やフォレストパークあだたらなど気軽にキャンプできる場所がたくさんあっておすすめです♪」



◀アウトドアが趣味という目黒さん
福島市の「一切経山」では魔女の瞳と
一緒に快晴×雲海の絶景を見ることが
できました！



生活福祉課 保護第三係
目黒 菜々美さん

出身：山形県
移住元：山形県

#3 米山 可菜 さん

市職員の仕事は市民のみなさんの生活に寄り添い、
福島市を発展させていくとてもやりがいのあるお仕事です！



交通政策課 交通政策係
米山 可菜さん

出身：福島県福島市
移住元：山形県



◀休日は福島県内に遊びに行くことも
五色沼(上)と ニッコウキスゲ(左)
北塩原村までドライブしました！

転職して福島市にUターンした米山さん。現在は“もりりんシルバーパスポート”の担当をしています。(75歳以上の方が無料で市内路線バスと福島交通飯坂線に乗ることができるカードです。)

「これまで山形や秋田などに住みましたが、里帰り出産のため一時的に福島市に戻ってきたことで、Uターンしたい！という思いが強くなりました。

インターネットで検索してこの採用試験のことを知りました。きっと一般の試験では入るのが難しかったです…。」

「福島市は夏は蒸し暑いけれど、東北地方の中では雪が少なく住みやすいです。指定のごみ袋がないのもありがたいです。一番助かるのは、子どもの医療費が高校3年生まで無料なことです。」

#4 大沼 恵莉花 さん

福島市は田舎すぎず都会すぎずちょうどよい。
東京からも近くて移住しやすい街です！

大学入学をきっかけに上京、卒業後も都内の医薬品関係の会社で勤務していた大沼さん。満員電車の通勤やコロナ禍で帰省しづらくなることがきっかけで福島県内へ戻ることを考え始めました。「福島市内で就職先を探していました。インターネットの検索でこの案内を見つけて、これまでの事務の経験が生かせると思い、応募しました。」

「福島市は田舎すぎず都会すぎない街です。家賃は都内よりかなり安くなりましたが、プロパンガスは思ったより高かったです。福島は安くて美味しいお店が多く、“てんぷら・しおや”さんで食べた天ぷらはとても美味しかったです。」

出身：福島県伊達市
移住元：東京都



◀現在は、ごみの減量、資源化推進などの業務を行っています。
小学校での出前講座では福島市の取り組みや現状についてお話ししました。

▲同じ係の野地さん（右）は指導員として成長に寄り添って理解して、指導してくれます。
新規職員には必ず指導員がつくので困ったときや辛いときに相談しやすく、心強い存在です。